

さいたま市立大宮北中学校

学校だより 10月号



令和6年9月27日(金)

048(641)1214

048(641)6680(さわやか相談室)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp>

学校教育目標

『人間性豊かな
実践力のある生徒』

- ◆たしかな学力
- ◆ゆたかな心情
- ◆たくましい身体

軌道修正

校長 小林 正美

日中はまだ汗ばむような日もありますが、すっかり朝夕の涼気に秋の気配を感じる頃となりました。保護者の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

9月12日(木)に、新人戦の壮行会が行われ、各部の部長からは大変力強い決意表明がなされました。そして、24日(火)から10日ほどの間、新人体育大会が行われています。生徒たちは、元気に澁漉と取り組んでいます。

さて、生徒の皆さんは学年目標、学級目標、部活目標、そして個人の目標を4月当初に立てたことと思います。それから半年が過ぎました。今一度、自分を振り返ってみてください。4月に立てたそれぞれの目標に向かってしっかりと歩んでいるでしょうか。

弓的を射る弓道の極意(教訓)の中に「一分八間(いちぶはっけん)」という言葉があります。一分とは、凡そ3ミリ、八間とは、凡そ14メートルの長さを示します。この極意は、弓で矢を放つとき、手元で一分つまり3ミリというわずかな手のぶれが生じると、的に到達するまでには、八間すなわち約14メートルも大きくそれてしまうということです。何を言いたいのかというと、出発をあやまれば、一月、二月…、一年二年…と時間が経つにつれ、そのズレが大きくなり、下手をすると、自分の人生を狂わす状況になってしまうかもしれないと言っています。これを自分の人生の目標に置き換えて考えてみると新たな目標に向かって進むには、その始めの時からいい加減なことをしては、自分自身が折角望んだことであっても達成はとても難しいということです。つまり、望みを立て進むからには、只ひたすら目標に向かって、まっすぐ進むことが大事だということです。あっちへ行ったり、こっちへ行ったり、あっちを向いたり、こっちを向いたりしていると目標達成は困難です。目標を達成するにはそれに関わる全ての事に対して「一意専心」、つまり他に心を動かされず、ひたすら一つのことに心を集中することが併せて大事なのです。そして、今、自分の目標を振り返って、目標に狂いが生じていたならば、その狂いが小さいうちに正すことが大切です。このことを、「軌道修正」と言います。誰もが人生を歩んでいくとき、最初の思いからずれて、違った方向に進んでしまうことがあります。その時その時に、そのずれを如何に正しい方向に修正できるかということが、とても大切です。今の学習はこれでよいのか、今の生活はこれでよいのか、今の部活動はこれでよいのかと自分自身に問い掛けてください。思いからずれがあるのならば、早速「軌道修正」を行いましょ。半年後には、生徒の皆さん全員の矢が的の真ん中に当たることを願っています。

